

かわせき

コロナを吹き飛ばせ



- 9月議会定例会 ……………P2
- 令和元年度決算……………P4
- 税金は有効に使われたか……………P6
- 委員会審議Q & A……………P8
- 町政を問う（一般質問）……………P10
- 追跡（一般質問のゆくえ） ……P13

橘小学校手取川学習

川北町議会事務局

検索



令和2年第5回(9月)議会定例会 4日～16日

令和元年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出決算の認定・令和2年度一般会計・特別会計補正予算、条例の改正、組合規約の変更、人事案件が上程されました。

議案は各常任委員会や予算決算特別委員会で審査され、すべて原案通り全員賛成で可決しました。

尚、人事案件については初日に採決し同意しました。

全町民に1人1万円の地域応援商品券配布



新型コロナウイルス感染拡大
防止対策費追加補正

令和2年度
一般会計補正予算

○令和2年度一般会計補正予算
総額 1億100万円

特別会計補正予算

○令和2年度の農業集落排水事業
特別会計補正予算
総額 900万円
(住宅建築に伴う本管延長に係
る工事費)

○介護保険事業特別会計補正予算
総額 285万円
(指定事業者等システム導入委
託料ほか)

議員提出議案

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出

一般会計補正予算(9月)

(単位:万円)

総務費	庁舎内 LAN 配線増設工事 (コロナ禍で分散業務)	110
	公共施設自動水栓整備工事 (蛇口を自動水栓に改修・感染症対策)	446
	番号制度に伴う住民情報システム改修委託料他	527
民生費	心身障害者医療費助成システム改修委託料	47
	未熟児養育医療給付費	400
	百寿会館修繕費	110
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費 (保育所・児童館)	572
衛生費	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費 (保健センター)	129
	保健センター修繕費	70
農林水産業費	農業集落排水事業特別会計繰出金	735
商工費	地域応援商品券支給事業費補助金 (1人1万円の商品券を配布)	6,880
教育費	エネルギー教育教材器具費	74

7月議会臨時会 30日

○令和2年度一般会計補正予算
総額 6,760万円

9月議会臨時会 30日

○工事請負契約の締結について

事業名 川北小学校プール耐震補強工事

契約方法 指名競争入札

契約金額 1億4,300万円

契約相手 白山建設株式会社

○財産の購入契約について

事業名 小中学校情報機器購入業務

契約方法 随意契約

契約金額 31,750,180円

契約相手 リコージャパン株式会社 販売事業本部

石川支社

内容 全児童生徒分のタブレット購入(742台)

(単位:万円)

一般会計補正予算(7月臨時会)

総務費	パーティションの設置 (飛沫感染防止対策)	100
民生費	サーモグラフィー購入費 (感染症対策・川北温泉に設置)	121
	保育所・児童館自動水栓整備工事 (蛇口を自動水栓に改修・感染症対策)	336
	特別出産祝金 (4月28日以降に出生した新生児を対象1人10万円)	500
衛生費	家庭ごみガイドブック作成費 (家庭でのゴミの分別と感染症対策)	66
消防費	避難所備蓄用品等購入費 (コロナ禍の災害に備える・段ボール間仕切り・消毒液等)	776
教育費	スクール・サポート・スタッフ配置費 (感染対策のため教員をサポート)	210
	小中学校自動水栓整備工事 (蛇口を自動水栓に改修・感染症対策)	763
	家庭学習用通信機器購入費 (Wi-Fi環境の整備支援)	226
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費 (小中学校) (接触冷感マスク・アルコール消毒液等の購入)	584
	図書館パワーアップ事業 (図書館のオンライン化や本の除菌機の購入)	3,078

人事

●教育委員会委員

新谷 浩 氏



(下田子島再任)

●教育委員会委員

矢野 茂 氏



(木呂場新任)

●教育委員会委員

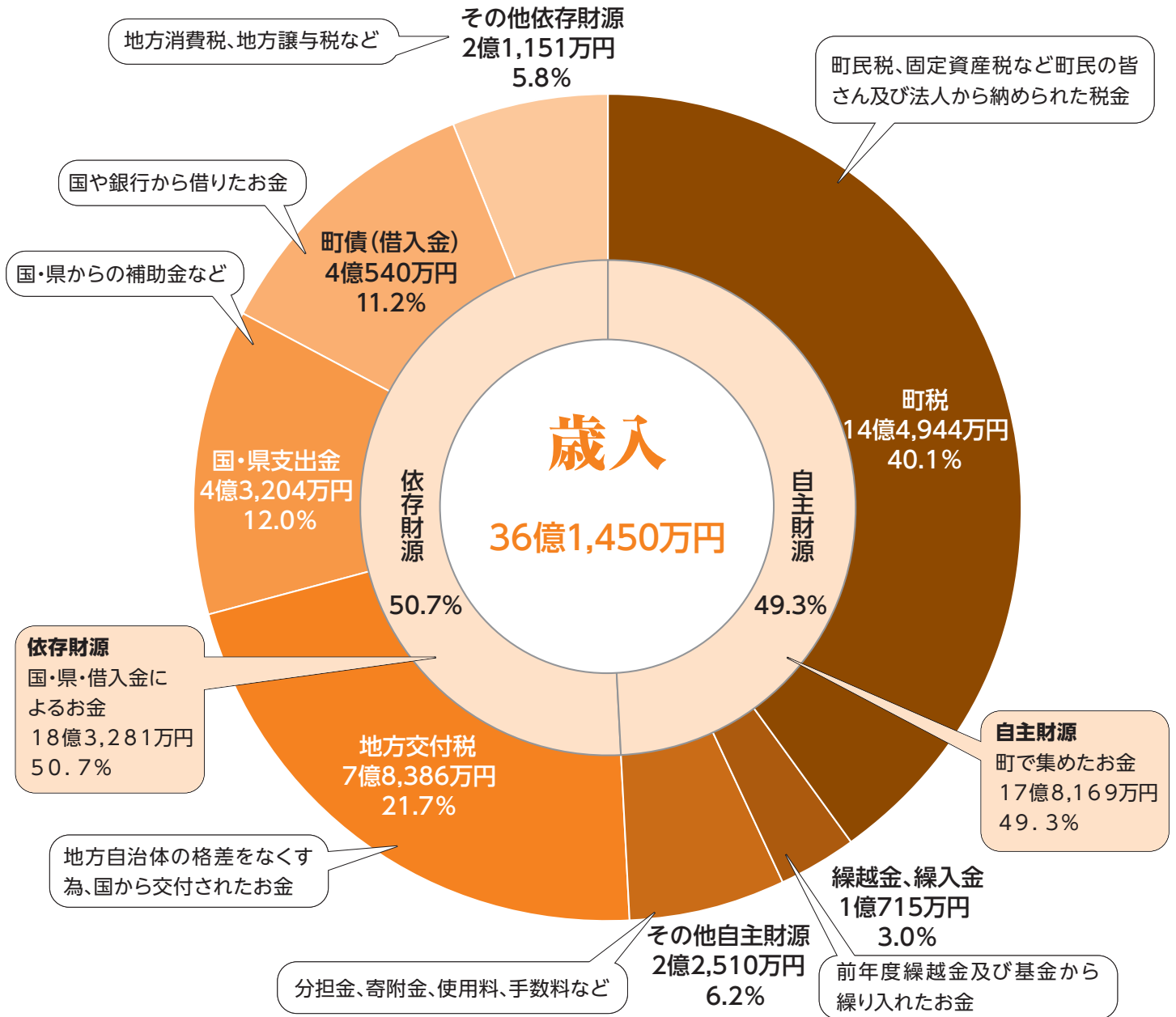
杉本 昌之 氏



(ひばりタウン新任)

財政指標は健全

一般会計歳入
36億1450万円



指標	健全化判断比率	
	実質公債費比率	将来負担比率
川北町	9.9%	—
早期健全化基準 (イエローカード)	25%以上	350%以上
財政再生基準 (レッドカード)	35%以上	—
県市町平均	9.9%	60.0%

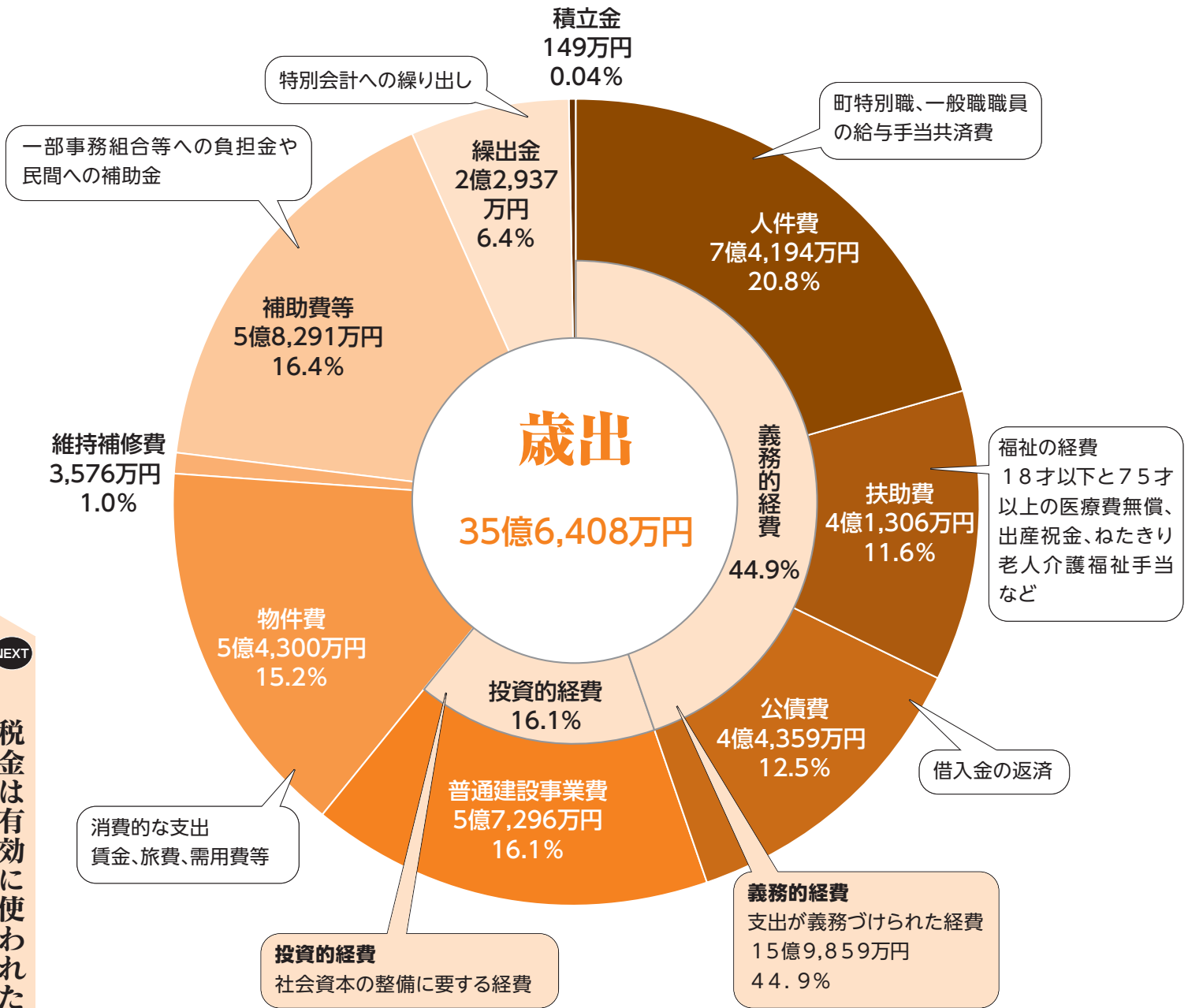
	財政力指数	経常収支比率
川北町	0.63	85.7%
全国平均	0.51 (H30年度)	93.0% (H30年度)
県平均	0.51 (H30年度)	92.0% (H30年度)

財政力を示す指数で、高いほど財源に余裕がある
経常的経費(人件費、扶助費、公債費等)が一般財源に占める割合、低いほど弾力性がある

※財政状況が健全かどうかを判断する「健全化判断比率」財政状況が悪化して危なくなったときに警告する早期健全化基準と、自力で財政状況の立て直しが出来なくなり、国や県の管理の下で財政再建に取り組むことになる財政再生基準があります。
川北町は全ての基準値を下回っており、健全な状況と言えます。

一般会計歳出
35億6408万円

令和元年度決算



NEXT

税金は有効に使われたか

特別会計

(単位：万円)

会計区分	国保会計	簡水会計	集排会計	介護保険会計	介護サービス会計	後期高齢者会計
歳入 (A)	53,534	3,172	19,370	48,688	5,635	6,863
(内一般会計繰入金)	2,766	462	8,400	7,500	2,700	1,143
(内基金取崩額)	—	510	—	—	—	—
歳出 (B)	51,106	3,100	18,705	47,791	5,529	6,729
差引 (A-B)	2,428	72	665	897	106	134

目玉施策の一覧

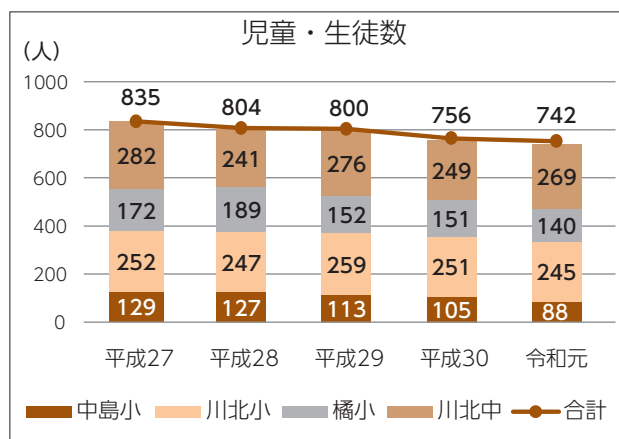
教育

グローバル化に対応する人材育成

- ・外国語指導助手(ALT)の配置 (404万円)
- ・オンライン英会話・英語4技能テスト (109万円)

教師の働き方改革への取り組み

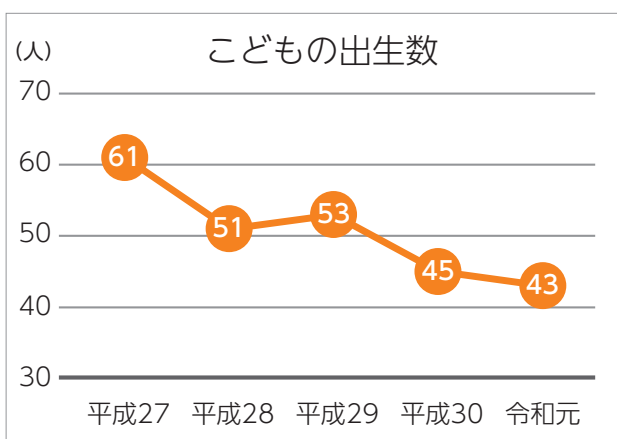
- ・スクール・サポート・スタッフの採用 (145万円)



少子化対策

安心して生み育てられる環境づくりをめざす

- ・子育てワンストップサービス (64万円)
- ・出産祝金 (435万円)
- ・ファミリーサポートセンター事業 (97万円)
- ・子ども食堂の開催事業費補助金 (14万円)



防災・減災対策

安全・安心なまちづくり

- ・自主防災組織活動助成事業補助金 (77万円)
- ・非常持ち出し袋等購入 (244万円)
- ・避難所無線LAN整備 (1,959万円)
(中島小、川北小、橘小、川北中)

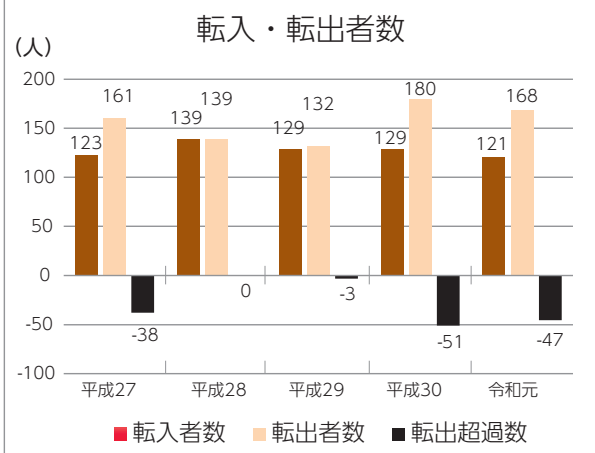
住環境整備事業

多世代がずっと住み続けられる町をめざす

- ・住宅リフォーム等助成事業補助金
(住宅リフォーム29件 525万円)
(住宅用太陽光発電6件 120万円)
- ・新築住宅取得奨励金 (18件 900万円)
- ・空き家等解体事業補助金 (5件 250万円)

農業・産業振興対策

- ・水田農業構造改革助成金 (2,361万円)
- ・多面的機能支払交付金 (3,218万円)
- ・経営転換協力金 (87万円)
- ・中小企業設備投資促進助成金 (60万円)



税金は有効に使われたか

ハード事業

- ・保健センター空調設備等改修事業
(6,724万円)
- ・防火水槽整備事業（藤蔵、橘新）
(1,849万円)
- ・中島・橘小学校プール耐震補強事業
(1億9,637万円)



中島小プール

まちづくりの推進

- ・いきいき地域づくり事業 (4,230万円)
- ・川北まつり助成金 (3,640万円)
- ・多目的運動公園(仮称)整備事業
(基本設計 1,095万円)

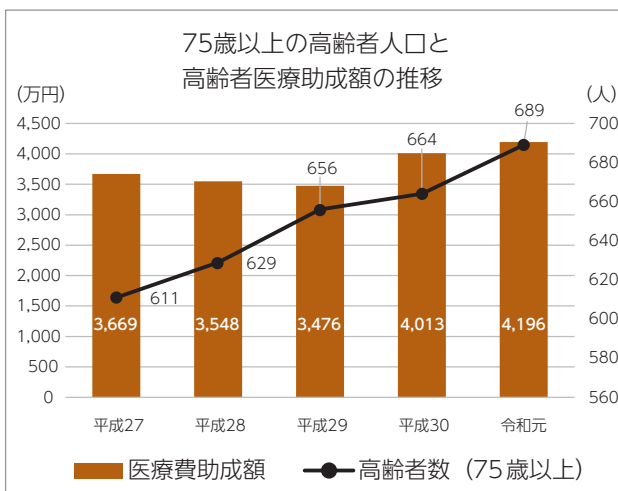


多目的運動公園（仮称）イメージ図

高齢者福祉

きめこまやかで手厚い住民サービス

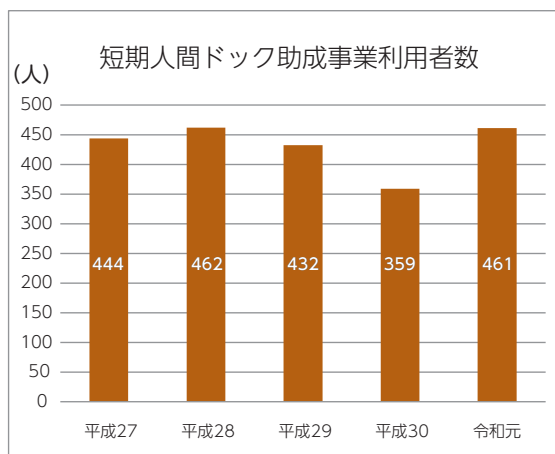
- ・75歳以上の高齢者医療費助成事業
(4,196万円)
- ・配食サービス事業費 (442万円)
- ・寝たきり老人等介護者福祉手当 (100万円)



保健事業

健康づくりの促進

- ・短期人間ドックの助成事業 (3,161万円)
- ・高齢者インフルエンザ予防接種 (474万円)
- ・各種予防接種費用の助成 (603万円)
(インフルエンザ、風しん、高齢者肺炎球菌)



NEXT

委員会審議 Q & A

委員会審議

主なもの

Q & A

総務産業常任委員会

Q 地域応援商品券支給事業費補助金について、子育て応援商品券支給事業などの経過を参考としているのか。

A 以前のプレミアム商品券の時には、使える店が18件、子育て応援商品券では45件と幅が広がり、使い勝手が良くなっている。



地域応援商品券

Q バス路線の延伸した山島台から川北温泉までの利用者数を聞く

A 温泉から金沢方面に行く人数は724人で平均1.4人、戻りは290人で平均0.6人と利用が少ない。少し見直しが必要でないか。

A 運用を始めて4年が経過し、初年度より2年目が増え今年度は今ままで最低となっている。利用する生徒により変動するため、もう少し状況を見極めたい。

予算決算特別委員会決算審査会

Q 町営住宅の退去者の状況は。

A 町営住宅の退去者は15件でその内、7件が町内に住宅を建設している。

Q ふるさと納税についての内訳は。

A 寄附は95件あり、その内、9件が県内からである。



ふるさとチョイス

Q 役場職員の時間外勤務の状況は。

A 役場庁舎の平均は月4時間、対象職員は43人(管理者除く)。町では今年から水曜日をノー残業デーとして定め、時間外勤務の短縮に努めている。

Q 避難所LAN整備の場所は。

A 中学校12箇所・中島小学校10箇所・川北小学校11箇所・橘小学校10箇所である。

Q 各課の委託料が多い。折衝すり合わせをどの様に行っているのか。

A 基本的に各課で折衝し、できるだけ低価格になるよう努めている。

Q コピー機は役場で一括管理してないのか。

A コピー機はリースで運用しているが、部署によりコピーの量が異なり、それにより機種・メーカーも違うので一括管理は難しい。



教育民生常任委員会

Q 空気清浄機の設置について、新型コロナウイルスに有効か。どの程度のもをを設置するのか。

A 診察室やプレイルームなど、換気が出来ない部屋での空気清浄機の設置は、様々なウイルスの感染リスクの軽減につながるかと考えている。
機種については性能の良いものを選定したいと考えている。



予算決算特別委員会決算審査会

Q 特別支援教育就学奨励費補助金についての対象者は。

A 現在小中学校で合わせて8名である。対象者は増える傾向にあるのが現状である。対策として特別支援教育支援員を1名増員している。



Q ファミリーサポートセンター利用者は年間何人か。

A 令和元年度で預かり39件送迎89件年間128件である。登録者は58名・ファミリーサポートは15名である。

Q 能美介護認定審査会の委員は何人いるのか。その中に川北町の委員はいるのか。

A 能美介護認定審査会は6合議体で運営しており、1合議体に4名の委員がいる。川北町から推薦している委員は3名である。



Q 民生児童委員は各地区に1名という規定はあるのか、地区民生委員を増員できないか。

A 国の基準で配置人数は示されていますが、地域の実情に応じて、県（国）に要望することは出来ます。

Q 緊急通報体制等整備事業の対象となるのは。

A 対象者は一人暮らし高齢者である。緊急時にボタンひとつで指定した連絡先に通報できるシステムとなっており、設置費用は全額町負担。月々の利用料の2分の1は利用者負担となっている。



緊急通報装置（本体）



ペンダント型子機

緊急通報装置

通報

①親族の方

②白山消防署

NEXT

町政を問う（いっぱん質問）

問 空き家バンク制度の推進策は

答 土木課長 様々な視点から検討

A 今後の空き家対策の推進については、所有者及び管理者に対して、適正な維持管理を依頼するとともに、空き家バンク制度、解体等事業補助金制度について周知を行い、更には、将来的な高齢化社会を見据え、様々な視点から、施策を検討したい。

Q 「空き家対策」として、所有者への意向調査や、所有者に対する空き家等解体工事費補助制度のPR等、「空き家バンク制度の推進策」は。



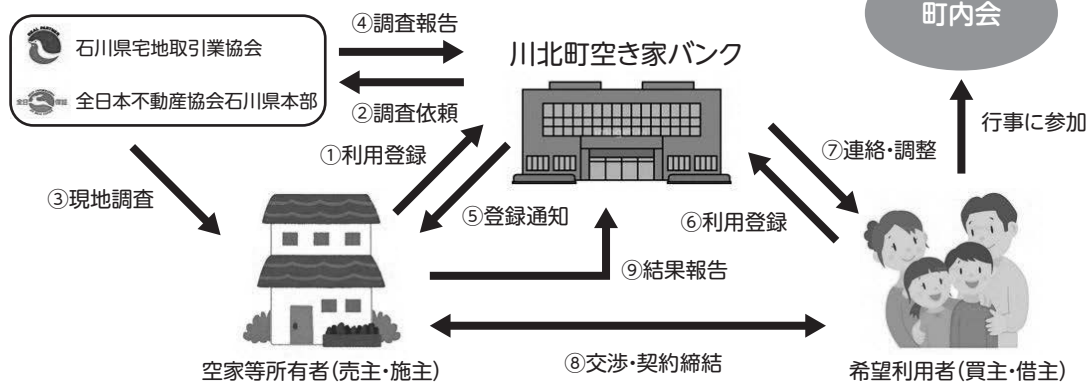
山村秀俊 議員

町政を問う！

9月議会定例会
一般質問



川北町空き家バンク制度 ～制度の流れ～



Q 過去に導入されたこの制度も、現金納付から、振替納税の普及・拡大へと移行し、税収の早期確保や、自主納税意識の定着等により、当初の目的を既に、達成しているのではないか。
これからは、納付方法の選択肢のひとつ、と考えた方がいいように思います。
因みに、県内では、川北町以外の市・町では、全て廃止されている。
「納期前納付報奨金制度」の見直しは。

A 給与所得者や年金受給者など、町民税を特別徴収され、当該制度を利用できない人との不公平感が生じていることから、多くの自治体が、この制度を廃止していることは、ご指摘のとおりである。
一方で、納期前に全額納付を選択するのは、利便性の面だけではなく、税負担を少しでも、和らげたいとの思いからである。
現下の新型コロナウイルスの影響で、国や自治体において、納税の猶予や減税、免税措置が講じられている中で、この制度も所謂、減税制度と同等に考えられることから、将来的な見直しについては、状況を見極めながら、慎重に判断したい。

問 納期前納付報奨金の見直しは
答 税務課長 慎重に判断

問 町内巡回バスの運行は

答 町長 乗り合い型の巡回バスを検討



西田時雄 議員

現在、高齢者をはじめ、障害を持つ方、妊婦の方などを対象とし、日常生活の維持と安全性、更には、利便性向上

A 高齢者や免許返納者など、移動が不便、あるいは困難な方々の生活支援は、大きな課題である。

Q 昨年の9月議会定例会一般質問において、町内の巡回バスについて、質問したのに対し、町当局の回答は「前向きに検討していきたい」とのことであった。
高齢者の日常生活の維持と利便性向上に向けて、町内巡回バスは必要不可欠と考えている。その後、町として何か進展はあったのか。



の観点より、買い物施設や公共施設、金融機関等を目的地とした「乗り合い型」の「町内巡回バス」を検討している所である。
また、通院など町外への移動につきましては、「タクシー初乗り運賃を助成する事業」も併せて計画をしており、試行期間も含め来年度より、実施する予定としている。

問 マイナンバーカード交付促進策は

答 住民課長 町独自の活用について検討

Q 現在、加賀市では、マイナンバーカード交付促進策として、申請された方、1人につき5,000円分の「かが応援商品券」を配るキャンペーンを実施している。今後、デジタル化が進みマイナンバーカードは、色々な手続きやキャッシュレス化にも利用され、益々利便性が高くなると思われる。川北町でも、交付率を上げるためには、マイナポイント制度の周知や、加賀市のように何か工夫が必要では。

A 国全体での交付率は、依然として低い状態が続いている。

しかしながら、マイナポイント事業などにより、今年の6月以降、本町における交付申請者は、大きく増加しており、9月6日現在の本町の交付率は、県内一の20・76%、申請率は、県内2番目の25・0%となっている。

今後、令和3年3月からマイナンバーカードが、健康保険証として利用できるようになるなど、利用範囲が広がる予定である。

また、現在、実施中の町立図書館の電算化に併せて、マイナンバーカードを図書館利用カードとして利用できるようにするなど、町独自の活用策についても、今後、検討したい。



NEXT

町政を問う (いっぱん質問)

問 土地改良区の今後のあり方は

答 町長 解散も選択肢の一つとして検討



田中秀夫 議員

川北町土地改良区は、平成28年10月の借入金償還を最後に、現在は年1回の総代会を開催するのみとなっている。

今後の大型圃場整備等の事業計画がなく、かつ賦課金も徴収されていない現状で今後、更なる維持費用の増大を伴ってまで組織の存続を図るといふのは、結果的に町の負担が増えることとなり、組織の在り方を考える時期に来ている。

そこで、組織の解散も含め、「土地改良区の今後の在り方」について問う。

A 昭和28年3月17日に現在の「土地改良区」が設立され、東部地区県営圃場整備事業を最後に、町内の大型圃場整備事業が完了しており、今日の町の農業基盤整備に、大きく寄与した。

借入金完済時から現在までは、財産管理業務と、年一度の役員会と、総代会を開催している状況であり、それら諸状況を踏まえ、組織存続については、今後の農業施策を精査しながら、解散も選択肢の一つとして、役員や総代間で十分に協議・検討したい。



総務産業常任委員 加賀海浜産業道路 を視察

9月11日(金) 総務常任委員会で、加賀産業海浜道路の視察を行いました。

視察では、県南加賀土木総合事務所道路建設課長の説明を受け、地下通路の防犯、安全対策について要望させていただきました。

教育民生常任委員 公園・遊具を視察

9月24日(木)教育民生常任委員会では、子ども達の遊び場の遊具について、穴水町真名井児童公園・宝達志水町運動公園多目的運動広場・かほく市七塚中央公園3箇所を視察を行いました。

視察では、遊具の安全性や機能性について検証しました。



県の担当者より説明を受ける



トランポリン遊具
「ふわふわドーム」

追跡

あの質問はどうなった？

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、レポートする。

空き家に対する補助制度を

平成30年12月議会 山村秀俊議員

空き家の円滑な流通や改修・解体・相続等を促すために、空き家に対する改修費用、解体費用、購入費用、清掃費用等の補助制度の創設について、町当局の考えを聞きたい。

答 弁

空き家に対する施設を検討

空き家の解体費用助成、移住促進助成など、町の実態に即した空き家に対する施設を検討して参ります。

その後

空き家等解体事業補助金制度 設立

平成31年4月

住宅地の流動化と町民のみなさんの安全で安心な住居環境の形成を図るため、空き家等の解体を実施する方に対し、工事費の一部を補助します。
補助金：解体及び撤去費の1/2（上限50万円）



取り壊し前の空き家

各種施策の町民への周知を

平成30年6月議会 田中秀夫議員

町は短期人間ドック事業など、町民の生活に密着したきめ細かい各種施策を数多く実施しているが、町民にはあまり知られていないのではないかと。町全体の施策が一目でわかるものにより、周知を図ることが大切ではないかと。

答 弁

暮らしの便利帳の作成を検討

広報やホームページ等を通じて町民の皆さんに周知の努力をしてきたが、実際に伝わっているのかが気かりである。「暮らしの便利帳」のような冊子を作成し、全戸配布を検討している。

その後

「暮らしの便利帳」発行

平成31年4月

「暮らしの便利帳」が各家庭に配布されました。暮らしに役立つ情報を提供しています。町の取り組みや手続きなど気になることがある時に活用ください。右QRコードより「暮らしの便利帳」がご覧になれます。



NEXT

みんなの広場
など

みんなの広場

西田さん ご家族（橘新）

西田 禎史さん・久美子さん
優唯さん(10歳)



- Q 以前のお住まいは？
A サンハイム橘です。

- Q 町に住まいしての感想は？
A 町内及び地区の行事が充実している。

- Q 町への要望などは？
A 公園等にもっと遊具があれば良いと思います。

取材者：田中秀夫

不動寺さん ご家族（中島）

不動寺 忠昭さん・さやかさん
晴さん(6歳)
慶さん(5歳)



- Q 以前のお住まいは？
A サンハイム三反田です。

- Q 町に住まいしての感想は？
A 子育てしやすい町だと思います。

- Q 町への要望などは？
A 子どもの遊べる公園を増やしてほしい。

取材者：山先守夫

お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111

編集後記

今回は読み易く、分かり易い紙面にしようという工夫を多く取り入れました。ビジュアルな情報提供により、町民の皆様へ行政と議会にさらに関心を持って頂き、読んでもらえる「議会だより」を目指して行きたいと思えます。

議会傍聴もコロナ禍で3月、6月定例会では中止されましたが、9月定例会より、傍聴席数13の制限付きで、再開されました。傍聴は今後の町の方針を直接聞くことができる良い機会です。今後とも多くの皆様にお越し頂ければと思います。

宮崎 稔記

議会を傍聴しましょう◆

次回の定例会は12月です。お気軽にお越しください。